

水は、私たちの生命の源です。私たち人間は、水なしでは生きていけません。その大切な水を育むのが川です。

昔は、水がきれいのでこの川や谷にもメダカやフナなどの魚が泳いでいました。ところが、人間の生活が便利になり、豊かになるにつれて生活排水が川に流され、ゴミが川に捨てられるようになりました。

その結果、川が汚染され、魚などの水性生物ばかりか、人間の生活さえもおびやかされています。

川を今の姿にしてしまったのは、私たち人間です。人間の手で汚してしまった川をみんなの力で少しでももとの川にもどさなければなりません。

私たちは、「全国こども川サミットin宮川」での「川の学校」を体験して、その後の話し合いの結果、次のような宣言をします。

- 一、私たちは、ふるさとの川に感謝しながら、美しい川づくりを進めます。
- 一、私たちは、ふるさとの自然を愛する心を育て、小さい子どもたちにその大切さを教えていきます。
- 一、“ちょっとすてきな川家族”というテーマのもとで、共に話し合い、活動した仲間と交流を深め、友情の輪を広げていきます。

平成12年10月14日

宮川小学校6年生代表 松林祐輔
森下沙紀



私たちは、台高山脈に源を発する三重県最大の河川「宮川」の最上流域宮川村に集い、「川に愛される人になりたい～ちょっとすてきな川家族～」をテーマに、第9回「全国川サミットin宮川」を開催しました。

昔から川は、人々の暮らしと深い関わりを持ち、時には恵みを、時には試練を与えてきましたが、いつの間にか忘れ去られてしまっているのではないのでしょうか。

近年、人々の川に対する価値観が変化し、豊かできれいな昔の川を取り戻すことの重要性が問われています。

昔の川を取り戻すということは非常に難しい問題ですが、私たち大人は、21世紀を担う子どもたちのために、川家族の一員として、自分たちの愛する川のために小さくてもいい、今できることから取り組むことを誓い合い、次のことを宣言します。

1. 21世紀を担う子どもたちに、もっと自分たちの川を知ってもらうため、学校教育と一体化した取り組みを進めます。
 - (1) 自治体独自の川の教科書を作成し、積極的な活用を図ります。
 - (2) インターネットを活用して、全国自治体学校間の川を通じた交流を図ります。
2. 地域住民による河川の環境クリーン運動等を展開し、川を愛する心の醸成に努めます。
3. 川に関わるイベントを通じ、川の歴史、文化の啓発に努め、河川愛護のための取り組みを進めます。

平成12年10月14日

第9回全国川サミットin宮川参加者一同

代表 宮川村長 尾上武義